

(特非) メコン・ウォッチ

メコン流域3カ国における「人びとの物語」 を活用した環境教育活動

環境教育教材の配布割合(70%目標) **69%**

環境ワークショップに参加した児童数(目標130人) **270人**

活動の全体目標に対する達成度 **70%**



ラオスの小学校での環境ワークショップ

◆成果と工夫したポイント

●成果

環境教育のための小冊子をタイ語・ラオス語・クメール語で計900部発行し、69%にあたる621冊を配布した。タイとラオスで、延べ270人の児童が参加する環境教育ワークショップを開催した。

●工夫

ドラフト版を用いたワークショップを経て、実践を踏まえた改善点を反映させた環境教育教材を発行した。

課題

自然資源に根ざした生活が営まれてきたメコン河流域では、自然にまつわる民話等が伝えられてきたが、近年、在来の自然資源利用と伝統的な口承文学の世界が失われつつある。

目標

(1) 伝説・民話等の「人びとの物語」にみる地域の自然資源利用の知恵を再評価し、(2) そうした物語を活用した環境教育教材を開発し、(3) メコン地域の自然資源管理を考察する上での新たな視点を提供すること。

活動内容

ラオス北部・南部、カンボジア東北部、タイ東部・北部・東北部で調査を行い、自然にまつわる伝説・昔話等を文字・音声・映像で記録し、ブックレット・インターネット・シンポジウムを通じて発信した。また、物語を使った環境教育のための小冊子を制作し、タイとラオスで小中学生を対象とした環境ワークショップを開催した。小冊子を各国の環境・教育関係の団体に配布するとともに、国際ワークショップを通じて経験交流を行った。



物語を活用した環境教育のための小冊子

達成できなかったこと

担当スタッフの体調不良と現地コーディネーターの関わりが薄れたことで、カンボジアでの環境ワークショップが実施できなかった。

今後の展望

ウェブサイトを通じた情報発信と、環境教育のための小冊子の配布を継続し、活動の効果の維持・波及を狙う。